

平成23年度

”宗谷シーニックバイウェイ”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月: 2012/3/31
---------------------	------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	-	-	-	-	-	-	<p>自分達の住んでいる地域を美しくすることで来訪者に対する”おもてなし”の心を表現する活動として清掃・植栽活動を行っている。</p> <p>また捨てられている流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントも行っている。</p> <p>更に宗谷らしい道路景観を念頭に道路付属物の景観向上策や「最北の観光のまち」を意識した案内標識のあり方などについて検討会を開催し意識醸成した。</p> <p>今後、清掃・植栽活動については団体同士で連携を取り地域全体で取り組めるような体制づくりを目指したい。</p>
		景観のための地場産業との連携	-	-	-	-	-	-	
		環境保全を兼ねた清掃活動	1	クリーンキャンペーン リシリ	利尻町建設協会・運輸協会 利尻トラック部会 【協力協賛】利尻町観光協会	平成23年4月25日	主催者約80名 一般参加約20名	SY- 3	
	魅せるための景観形成	春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	2	稚内空港線植樹帯維持活動	フラワーマスター稚内	平成23年6月11日	主催者約20名 一般参加約60名	SY- 7	
		アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩	3	彩北わっキャナイト2011	稚内みなとまちづくり懇談会	平成24年2月11日	準備(主催者約15名、 他協力約55名) 来場者(一般参加800名)	SY- 13	
		流木を活用したプランター作り	4	彩りプロジェクト2011	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成23年7月3日	主催者約10名	SY- 4	
	より良い景観整備を目指す	商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り	5	宗谷らしい道路景観の検討	宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部	平成24年1月18日	一般参加13名	SY- 11	
		地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	-	-	-	-	-	-	
		地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成	-	-	-	-	-	-	
	環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	宗谷シーニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	-	-	-	-	-	
観光客への啓発活動			6	礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	平成23年度	-	SY- 1	
自慢できる自然・雄大な自然景観の保全		環境保全のためのルール作り	-	-	-	-	-	-	<p>海岸清掃については平成17年より継続的に実施し、参加者数の規模も年々増えている。</p> <p>また「環境都市わからない」を標榜している中で、環境エネルギーを活用したEV車の普及啓発についての勉強会を行った。</p> <p>今後も、離島の外来種混入防止やCO2削減(カーボンオフセット)やなど環境配慮の社会情勢に連動した活動メニューを継続的に実施していく必要がある。</p>
		CO2削減のための植林及び植栽活動	-	-	-	-	-	-	
		フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施	-	-	-	-	-	-	
		環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	4	彩りプロジェクト2011	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成23年5月29日	主催者約10名 一般参加約200名	SY- 4	
道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案		-	-	-	-	-	-	-	
次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり		宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	7	EV車事業	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成23年9月～平成23年11月	研究会20人、講演会35人、ワークショップ15人、その他70人(いずれも一般参加)	SY- 9	
	地域の将来を担う子供たちへの教育活動	-	-	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月: 2012/3/31
---------------------	------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	8	観光案内所情報交換	宗谷シーニックバイウェイ観光・情報分科会・各観光協会	平成23年6月1日～9月30日	95名	SY- 5	<p>エリア内の観光情報について各々観光協会同士が連携して情報交換をし、対外的に情報発信している。</p> <p>今後、地域内での連携事業をより密にしていくためには、各々の活動団体が自主的に情報発信していく必要があるのと、それらを効率良くまとめた確に発信していく地域全体の情報管理体制を構築していくことが必要と考える。</p>	
		情報ボランティア等人材の発掘及び育成	-	-	-	-	-	-		
	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	-	H18完了						
		ルート及び情報発信場所における看板等の設置	-	-	-	-	-	-		-
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信	-	-	-	-	-	-		-
		分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	-	-	-	-	-	-		-
		オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	-	-	-	-	-	-		-
	情報収集方法の確立に向けたルールづくり	-	-	-	-	-	-	-		
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備	-	-	-	-	-	-	<p>継続的に行われているイベントは好評を得ているが、季節ごと、自治体ごとそれぞれ実施されている。</p> <p>これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを見せていくべきものとする。</p> <p>今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものとする。</p>	
			9	稚内フットパス(地域資源活用)	稚内商工会議所、宗谷シーニックバイウェイ	平成23年4月～平成24年2月	委員会30人、地域住民多数	SY- 2		
		「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり	10	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会【協力協賛】礼文島観光協会、宗谷シーニックバイウェイ	平成23年6月4日	主催者約170名 一般参加約34名	SY- 6		
		稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール	3	彩北わっキャナイト2011	稚内みなとまちづくり懇談会	平成24年2月11日	準備(主催者側約15名、他協力約55名) 来場者(一般参加800名)	SY- 13		
		景観趣向に応じたビューポイントマップの作成	-	-	-	-	-	-		-
		ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定	-	-	-	-	-	-		-
		三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備	-	-	-	-	-	-		-
		利尻島の桜等の植栽活動	-	-	-	-	-	-		-
		景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	4	彩リプロジェクト2011	稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内	平成23年5月29日	主催者約10名 一般参加約200名	SY- 4		
			-	-	-	-	-	-		-
	『種』から育てる新たな観光の創出	大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施	-	-	-	-	-	-		-
		物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	11	てっぺん鍋マルシェ 日本海VSオホーツク海グルメバトル	北防波堤グルメまつり実行委員会【主管共催】稚内観光協会・同青年部・稚内ホテル旅館業組合女性部・稚内商工会議所女性会	平成23年9月23日～25日	主催者約50名 一般参加15,000名	SY- 10		
		外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	-	-	-	-	-	-		-
		活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	12	宗谷観光ワークショップ	宗谷シーニックバイウェイ、北宗谷広域観光推進協議会	平成24年3月5日	一般参加(講演会85名ワークショップ45人)	SY- 14		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 岩間 幹生	報告年月:2012/3/31
--------------------	-----------------------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
シーニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	シーニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催	-	-	-	-	-	-	
	地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	-	-	-	-	-	-	
観光振興・地域づくりイベント		13	2011 WAKKANAIみなとコンサート	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成23年8月28日	主催者約50名 一般参加約3450名	SY- 8	
		14	ポニーを走らす会	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	平成24年2月5日	主催者約30名 一般参加約270名	SY- 12	

【概要】 2010年11月の全道フォーラムで展示していた「とかちイエローリボンプロジェクト」をモチーフに、シーニックバイウェイに積極的に参画する行政としての果たすべき役割の一つとして、地域の「くらしや産業」とマッチングが良く又、持続可能な取り組みとしての「礼文島リボンプロジェクト」を企画し実行した。
バッジ購入という単純なアクションを通じて、誰もが参加できる活動を目指した。

【日時】 平成23年度内

【場所】 礼文島内

【主催】 礼文島観光協会



稚内フットパス（地域資源活用）

- 【概要】 稚内市内の地域資源を活かしたフットパスコースの整備及びPR活動。
稚内市を始めとする行政や観光関係機関、地元事業者等との連携により、観光客の誘客や小規模事業者の持続的発展と地域経済の活性化を図ることを目的に、稚内市内のフットパス整備やプロモーション活動を行った。
- 【日時】 平成23年4月～平成24年2月
- 【場所】 稚内市内
- 【主催】 稚内商工会議所・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 委員会30人（稚内市・観光協会・バス事業者・旅館業組合、地元事業者等）/地域住民ほか多数



【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。

【日時】 平成23年4月25日（月）

【場所】 利尻町内

【主催】 利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会

【協力協賛】 利尻町観光協会

【参加人数】 約100名（主催者側 約80名、一般参加 約20名）



- 【概要】 抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。昨年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めた。
- 【日時】 平成23年5月29日（日）海岸清掃と流木集め、
7月3日（日）流木プランター制作
- 【場所】 （海岸清掃と流木集め）抜海海岸
（流木プランター制作）風のがっこう稚内
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民。
- 【参加人数】 海岸清掃...主催者側約10名、他約200名／流木プランター製作...主催者側約10名



- 【概要】 礼文観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。翌日の利尻島一周マラソン（利尻島悠遊賢人G ※ ゆうゆうらんになぐ）とも連携して実施している。
- 【日時】 平成23年6月4日（土）
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会
- 【協力協賛】 礼文島観光協会・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 204名（主催者側 約170名（町民）、一般参加 約34名（町外参加））



【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。今年から植樹帯の区画を決め、協賛10団体にも年間を通して維持管理をお願いした経緯もあり、参加団体、参加人数ともに増加した。

【日時】 平成23年6月11日（土）

【場所】 稚内空港線（稚内空港前）

【主催】 フラワーマスター稚内

【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、みなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか

【参加人数】 約80名（主催者側約20名、一般参加約60名）



2011 WAKKANAI みなとコンサート

- 【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。
- 【日時】 平成23年8月28日（日）11:00～16:00
- 【場所】 北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【共催】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー
- 【後援】 宗谷地区港湾工事安全連絡協議会
- 【協賛】 NPO法人北海道みなとの文化振興機構、社団法人寒地港湾技術センター、他
- 【参加人数】 約3,500名（主催者側約50名、一般参加約3,450名）（※他のイベント等からの流れもあり）



【概要】最北の国立公園を有する宗谷シーニックバイウェイ。稚内市は環境都市宣言をしており、メガソーラー、風力発電、バイオエネルギーセンターなど自然再生エネルギーへの取組みが盛んです。大自然のなかのドライブ観光にEV車や自然再生エネルギーの活用で「環境と観光」のゼロ・エミッションの可能性を探る。

【日時】平成23年9月～11月

【場所】稚内市・利尻島・礼文島

【主催】未来の暮らしと宗谷路（ネットワーク）を考える会

【参加人数】研究会20人、講演会35人、ワークショップ15人、その他70人（いずれも一般参加）



てっぺん鍋マルシェ 日本海VSオホーツク海グルメバトル

- 【概要】 地理的に日本海とオホーツク海に挟まれた稚内で、それぞれの海で水揚げされる食材を使った大鍋を食べ比べしてもらおうイベント。
- 【日時】 前夜祭：平成23年9月23日 / 鍋バトル：同年9月24日・25日
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム特設会場
- 【主催】 北防波堤グルメまつり実行委員会
- 【主管・共催】 稚内観光協会・同青年部・稚内ホテル旅館業組合女性部・稚内商工会議所女性会
- 【参加人数】 15,050名（2日間と前夜祭の合計来場者数）
～内、主催者側延べ50名、一般参加延べ約15,000名



- 【概要】 宗谷らしい道路景観形成について、景観に配慮した道路附属施設の整備改善計画、また「最北の観光のまち」を意識し、管内を走行するドライバーの方々に快適で“再び訪れたい”気分させるドライブ環境整備に向けた道路標識に関する改善計画を整理し、これに基づき『宗谷らしい道路景観のあり方』について意見交換した。
- 【日時】 平成24年1月18日（水） 13:30～15:30
- 【場所】 稚内合同庁舎 3階会議室
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部
- 【参加人数】 13名（一般参加）



- 【概要】 冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験（主にちびっ子相手）を楽しんで貰う。
- 【日時】 平成24年2月5日（日）11:00~14:00
- 【場所】 稚内副港市場駐車場
- 【主催】 稚内のみなどを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約300名（主催者側約30名、一般参加約270名）



- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。
今年で9年目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、
『雪合戦』との同一会場での連携開催となり、来場者数も800名を超えた。連携6
年目を迎え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時
開催するなど、各々で特色を持ち始めた。
- 【日時】 平成24年2月11日（土） 13:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚
内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚
内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、東中おやじの会な
ど
- 【参加人数】 準備約70名（主催者側約15名、他協力約55名）、来場者約800名（一般参加）



- 【概要】 宗谷SBWエリアの6観光協会会員が一同に集い、観光庁の政策や話題のLCCについて学び、さらに落ち込んでいる夏観光の復活についてワークショップを通じて意見交換を行い、25年度に向けた取組みのスタートとした。
- 【日時】 平成24年3月5日（月） ■講演会15：00 ■WS16：00
- 【場所】 稚内全日空ホテル
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ・北宗谷広域観光推進協議会
- 【構成団体】 後援/稚内開発建設部 協力/稚内信用金庫・ハートランドフェリー・宗谷バス
- 【参加人数】 講演会 85人 ワークショップ 45人（いずれも一般参加）

講演会



ワークショップ



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2012/3/31
--------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画		平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	魅せるための景観形成	稚内空港線植樹帯維持活動	平成23年6月11日	(協力協賛)宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、みなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか	稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。今年から植樹帯の区画を決め、稚内開発建設部を含む協賛10団体にも年間を通して維持管理をお願いした経緯もあり、参加団体、参加人数ともに増加した。	魅せるための景観形成活動として清掃・植栽活動、また流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントに協賛している。 今後、地域全体で連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-7
		彩北わっキャナイト2012	平成24年2月11日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、東中おやじの会など	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年で9年目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、『雪合戦』との同一会場での連携開催となり、来場者数も800名を超えた。連携6年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。稚内開発建設部においては、ドームを彩るスノーキャンドル作成の協力を行った。		SY-13
		彩りプロジェクト2011	平成23年7月3日(流木プランター)	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。昨年は稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めており、稚内開発建設部においても、海岸清掃への参加を行っている。		SY-4
環境	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	彩りプロジェクト2011	平成23年5月29日(海岸清掃・流木集め)	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。昨年は稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めており、稚内開発建設部においても、海岸清掃への参加を行っている。	環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動を実施している。これらと連携し支援していただける体制づくりを目指したい。	SY-4

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウエイ		報告者: 稚内開発建設部		報告年月: 2012/3/31			
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	彩北わっキャナイト2012	平成24年2月11日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内商工高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、東中おやじの会など	稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年で9年目となる当イベントは、稚内商工会議所主催の『南極ハイランド』、『雪合戦』との同一会場での連携開催となり、来場者数も800名を超えた。連携6年目を向え、各団体、町内会等の参加団体も増加傾向にあり、生涯学習教育を同時開催するなど、各々で特色を持ち始めた。稚内開発建設部においては、ドームを彩るスノーキャンドル作成の協力を行った。	継続的に行われているイベントが好評で、引き続き実施されている。	SY-13
		彩りプロジェクト2011	平成23年7月3日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内測量設計協会、稚内北星学園大学、一般市民	抜海海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施。本年からは稚内市役所主催の海岸清掃に参加し、流木を集めており、稚内開発建設部においても、海岸清掃への参加を行っている。	これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを見せていくべきものとする。	SY-4
	観光振興・地域づくりイベント	2011WAKKANAIみなとコンサート	平成23年8月28日	(共催)稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー	稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。稚内開発建設部においては、開催に併せて「みなとパネル展」を行った。	今後、国内外問わず対外的にPRしていく必要があるものと考えられ、これらと連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-8
		ポニーを走らす会	平成24年2月5日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他	冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験(主にちびっ子相手)を楽しんで貰う。		SY-12

5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ 代表 岩間 幹生	報告年月:2012/3/31
--------------------	---------------------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p>今年度の取組みの中では観光案内所の情報交換、フットパス事業、EV車事業などがあり、どの取組みも好評が得られた。次年度ではそれらを地域内でどう活用していくのか、など運用実務に関する活動が求められてくる。</p> <p>また観光協会長サミットや宗谷観光を考えるワークショップの開催(観光系)、宗谷らしい道路景観形成や「最北の観光のまち・宗谷」にふさわしい案内標識などを検討するワークショップの開催(景観系)の効果もあって意識が高く、とくに道路標識の多言語化に向けた取組みに関し、更なる活動の展開が期待されている。</p> <p>また環境エネルギー・先進地としての専門知識を有する環境観光ガイドなどに関する人材、またフットパス事業では案内ガイド役の人材などについて育成の充実が求められてくる。</p>	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2012/3/31
--------------------	-------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p>官民協働での花植え活動などの長期継続を求めているが、現状として地域住民の参加が少なく、会議をはじめメーリングリストやニュースレター、各自治体の広報誌なども活用し、個別具体的な情報までを密に提供できる体制を考える必要がある。</p> <p>これら地域連携に対し、双方を効果的に運用できる調整役の人材育成の充実が求められてくる。</p>	